

イエスの歩まれた道 ルカ 9:57-62

24.3.3 丘の上 NO.720

春日部福音自由教会 山田豊

イエスの生涯は、歩く日々でした。ヨルダン川で洗礼を受け、サタンの試みを経た後、ガリラヤのカペナウムの会堂で、宣教を始められました。イスラエルの地を巡る伝道の旅が始まったのです。

イエスが目指していたのは、神の都と言われたエルサレムでした。ガリラヤ地方からエルサレムに行く最短ルートは、サマリア人の地を通ることです。しかし、ゲリジム山こそ礼拝の場所であると信じていたサマリア人は、エルサレムを目指すイエスの一行の通過を拒んだのでした。今日でも、ある宗教の原理主義は、他の宗教や考え方を認めようとせず争いを起こす、そんな姿とダブります。イエスはかつて、場所や民族の違いにとらわれることなく、霊とまことによって礼拝する者を神は求めている、と言われたのでした(ヨハネ 4:23)。

イエスとの引き合いに出される旧約聖書の3人も、神を求めて歩いた人でした。かつてシナイ山に登ったモーセは、イスラエルの民をエジプトから解放し、ふたたびシナイ山に登りました。ここは神に会う聖なる場所であり、十戒を授かった山です。モーセは、神のことばを受けるために歩いたのでした。アブラハムは、若い時から長い旅をした人物です。故郷を出て、親とも別れたのでした。彼にとって最もつらい道行は、ようやく与えられた一人息子をささげなくてはならない、モリヤへの道行きでした。歩きながら、彼は何を思ったのでしょうか。しかしモリヤに着いたとき、そこに神の助けと備えがありました。つらい道行の中にも、神の助けがあるのです。もう一人は、エリヤです。バアルの預言者に打ち勝ったエリヤでしたが、意気消沈し、体力もなくなっていました。そんな彼に食べ物と休息が与えられ、40日40夜かけてモーセの上ったシナイ山に向かったのです。そして、嵐の後の静けさの中で神の言葉を聞くのです。心も体も疲れ切った状態であっても、神はあなたを支え、静けさの中で語ってくださるのです。

イエスの歩まれた道は、孤独でした。神のみ心を行うことを第一とし、そこから外れることはありませんでした。今日も、イエスに従う道の基本は、これです。しかしそれは、光りの道なのです。罪の暗闇から救い出さしてくださった主は、あなたを光のうちに導き、一隅の灯としてくださったのです。あなたがたは、以前は暗やみでしたが、今は、主にあつて、光となりました。光の子どもらしく歩みなさい。エペソ 5:8

引用聖句

ルカ 10:1 その後、主は、別に七十人を定め、ご自分が行くつもりですべての町や村へ、ふたりずつ先にお遣わしになった。

ルカ 19:29 オリーブという山のふもとのベテパゲとベタニヤに近づかれたとき、イエスはふたりの弟子を使いに出して、

2列王 17:24-41 アッシリヤの王は、バビロン、クテ、アワ、ハマテ、そして、セファルワウムから人々を連れて来て、イスラエルの人々の代わりにサマリヤの町々に住ませた。それで、彼らは、サマリヤを占領して、その町々に住んだ。

ヨハネ 4:20 私たちの父祖たちはこの山で礼拝しましたが、あなたがたは、礼拝すべき場所はエルサレムだと言われます。」

ヨハネ 4:21-23 イエスは彼女に言われた。「わたしの言うことを信じなさい。あなたがたが父を礼拝するのは、この山でもなく、エルサレムでもない、そういう時が来ます。22 救いはユダヤ人から出るのですから、わたしたちは知って礼拝していますが、あなたがたは知らないで礼拝しています。23 しかし、真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はこのような人々を礼拝者として求めておられるからです。

創世記 22:1-3 これらの出来事の後、神はアブラハムを試練に合わせられた。神は彼に、「アブラハムよ」と呼びかけられると、彼は、「はい。ここにおります」と答えた。2 神は仰せられた。「あなたの子、あなたの愛しているひとり子イサクを連れて、モリヤの地に行きなさい。そしてわたしがあなたに示す一つの山の上で、全焼のいけにえとしてイサクをわたしにささげなさい。」3 翌朝早く、アブラハムはろばに鞍をつけ、ふたりの若い者と息子イサクとをいっしょに連れて行った。彼は全焼のいけにえのためのたきぎを割った。こうして彼は、神がお告げになった場所へ出かけて行った。

出エ 3:1-6 1 モーセは、ミデヤンの祭司で彼のしゅうと、イテロの羊を飼っていた。彼はその群れを荒野の西側に追って行き、神の山ホレブにやって来た。2 すると【主】の使いが彼に、現れた。柴の中の火の炎の中であった。よく見ると、火で燃えていたのに柴は焼け尽きなかった。3 モーセは言った。「なぜ柴が燃えていかないのか、あちらへ行ってこの大いなる光景を見ることにしよう。」主】は彼が横切つて見に来るのをご覧になった。神は柴の中から彼を呼び、「モーセ、モーセ」と仰せられた。彼は「はい。ここにおります」と答えた。5 神は仰せられた。「ここに近づいてはいけない。あなたの足のくつを脱げ。あな

たの立っている場所は、聖なる地である。」6 また仰せられた。「わたしは、あなたの父の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である。」モーセは神を仰ぎ見ることを恐れて、顔を隠した。

出エ 20:1 それから神はこれらのことばを、ことごとく告げて仰せられた。

アモス 4:12 それゆえ、イスラエルよ、わたしはあなたにこうしよう。わたしはあなたにこのことをするから、イスラエル、あなたはあなたの神に会う備えをせよ。

ヨハネ 1:14 ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。

1列王 19:1-12 アハブは、エリヤがしたすべての事と、預言者たちを剣で皆殺しにしたこととを残らずイゼベルに告げた。2 すると、イゼベルは使者をエリヤのところに遣わして言った。「もしも私が、あすの今ごろまでに、あなたのいのちをあの人たちのひとりのいのちのようにしなかったなら、神々がこの私を幾重にも罰せられるように。」3 彼は恐れて立ち、自分のいのちを救うため立ち去った。ユダのベエル・シェバに来たとき、若い者をそこに残し、。。8 そこで、彼は起きて、食べ、そして飲み、この食べ物に力を得て、四十日四十夜、歩いて神の山ホレブに着いた。・・・12 地震のあとに火があったが、火の中にも【主】はおられなかった。火のあとに、かすかな細い声があった。

マタイ 11:14 あなたがたが進んで受け入れるなら、実はこの人こそ、きたるべきエリヤなのです。

ルカ 19:41- エルサレムに近くなったころ、都を見られたイエスは、その都のために泣いて、

エペソ 5:8 あなたがたは、以前は暗やみでしたが、今は、主にあって、光となりました。光の子どもらしく歩みなさい。